

川崎陸送

第51回QCサークル大会を開催

「ナイトクラブ」が優秀賞に

川崎陸送(本社・東京都港区、樋口恵一社長)は9日、第51回QCサークル代表発表大会を東京都トラック総合会館で開催した。予選を勝ち抜いた10サークルが取り組みを紹介。審査の結果、業務の共有化に取り組んだ京都営業所の配車チーム「ナイトクラブ」が第1位となる優秀賞を受賞した。

飲料等の幹線輸送の配車を行っている「ナイトクラブ」では、合計約200の業務内容のうち、担当者しか理解できていない業務内容が約30項目あることに着目。こうした「タコツボ項目」をゼロにすることを目標に設定した。

情報の未共有と連絡漏れの原因を分析し、配車表のフォーマットの作成や引き継ぎの習慣づけ、輸送業務全体の整理整頓、教育機会の設定——といった対策を立案し、実施。「タコツボ項目」のゼロを達成した。

なお、優良賞には流通加工のシール貼り作業時間を短縮した「チームきのた

け」(坂戸流通センター)が、努力賞には誤出荷削減に向け活動を行った「C.C.クラス」(京都営業所)とピッキングミス

の防止に取り組んだ「ひよこ物流」(赤穂営業所)が選ばれた。

また、優秀提案発表では、「圧送コンテナの輸送方法の向上と移送作業の進化」(赤穂営業所の山根直英氏)、「納品ルート改善」(山口営業所の寺内務氏)、「調達便空きスペースの有効活用」(山口営業所の田中健児氏)が優秀賞に輝いた。



樋口社長(右)と「ナイトクラブ」メンバー